

第40回日本川崎病学会・学術集会

The 40th Annual Meeting of the Japanese Society of Kawasaki Disease

プログラム・抄録集

テーマ

Lifelong Cardiologyと 国際的視点から見た川崎病の現在

オンライン開催

会期

2020年10月30日(金)・31日(土)

会頭

三谷 義英

三重大学医学部附属病院 周産母子センター病院 教授
三重大学 先天性心疾患・川崎病センター センター長

目次

日本川崎病学会(研究会)の歩み.....	3
会頭挨拶.....	4
参加者の皆様へ.....	6
日程表.....	7
プログラム.....	9
抄録	
特別講演.....	27
シンポジウム.....	30
国際サイバーシンポジウム.....	45
会長緊急特別企画.....	49
ケースカンファレンス.....	53
共催セミナー.....	54
会長要望演題.....	59
一般演題.....	67
ポスター発表.....	83
演者索引.....	123
第40回日本川崎病学会・学術集会 協賛企業・団体一覧.....	127

日本川崎病学会 (研究会) の歩み

第 1 回研究会総会 (昭和56年)	顧 問	重松 逸造、浜島 義博、田中 昇、草川 三治、川崎 富作
	世話人	南部 春夫、谷口 繁、直江 史郎、浅井 利夫、柳瀬 義男、尾内善四郎、神谷 哲郎、四宮 啓介、西林 洋平、加藤 裕久
第 2 回研究会総会 (昭和57年)	会 頭	加藤 裕久
第 3 回研究会総会 (昭和58年)	会 頭	尾内善四郎
第 4 回研究会総会 (昭和59年)	会 頭	直江 史郎
第 5 回研究会総会 (昭和60年)	会 頭	西林 洋平
第 6 回研究会総会 (昭和61年)	会 頭	神谷 哲郎
第 7 回研究会総会 (昭和62年)	会 頭	北村惣一郎
第 8 回研究会総会 (昭和63年)	会 頭	松本 脩三
第 9 回研究会総会 (平成 元年)	会 頭	柳沢 正義
第10回研究会総会 (平成 2 年)	会 頭	森 忠三
第11回研究会総会 (平成 3 年)	会 頭	横山 達郎
第12回研究会総会 (平成 4 年)	会 頭	古庄 巻史
第13回研究会総会 (平成 5 年)	会 頭	谷口 繁
第14回研究会総会 (平成 6 年)	会 頭	小池 通夫
第15回研究会総会 (平成 7 年)	会 頭	原田 研介
第16回研究会総会 (平成 8 年)	会 頭	古川 斬
第17回研究会総会 (平成 9 年)	会 頭	千葉 峻三
第18回研究会総会 (平成10年)	会 頭	馬場 國蔵
第19回研究会総会 (平成11年)	会 頭	岡崎 富男
第20回研究会総会 (平成12年)	会 頭	藺部 友良
第21回研究会総会 (平成13年)	会 頭	馬場 清
第22回研究会総会 (平成14年)	会 頭	白幡 聡
第23回研究会総会 (平成15年)	会 頭	長嶋 正實
第24回研究会総会 (平成16年)	会 頭	清沢 伸幸
第25回研究会総会 (平成17年)	会 頭	鈴木 淳子
第26回研究会総会 (平成18年)	会 頭	荻野廣太郎
第27回研究会総会 (平成19年)	会 頭	佐地 勉
第28回研究会総会 (平成20年)	会 頭	富田 英
第29回学会総会 (平成21年)	会 頭	岩佐 充二
第30回学会総会 (平成22年)	会 頭	濱岡 建城
第31回学会総会 (平成23年)	会 頭	上村 茂
第32回学会総会 (平成24年)	会 頭	小川 俊一
第33回学会総会 (平成25年)	会 頭	市田 露子
第34回学会総会 (平成26年)	会 頭	寺井 勝
第35回学会総会 (平成27年)	会 頭	野村 裕一
第36回学会総会 (平成28年)	会 頭	石井 正浩
第37回学会総会 (平成29年)	会 頭	高橋 啓
第38回学会総会 (平成30年)	会 頭	鈴木 啓之
第39回学会総会 (令和 元年)	会 頭	三浦 大

(敬称略)

会頭挨拶



第40回日本川崎病学会・学術集会 会頭
三重大学医学部附属病院 周産母子センター
病院教授 **三谷 義英**

学術集会のご挨拶の前に、川崎病の発見者であられ、本学会顧問・日本川崎病研究センター名誉理事長の川崎富作先生のご逝去に接し、謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈り致します。

未だCOVID-19の流行の第2波の収束に至らない中、会員の先生におかれましては、ご施設で感染対策にご苦勞されておられ、お見舞い申し上げます。

7月7日にご連絡致しました様に、COVID-19の流行の影響で、第40回日本川崎病学会は、予定の2020年10月30-31日(金、土)に、完全にオンラインの形で開催致します。

本学術集会の企画の当初から「生涯循環器学と国際的視点から見た川崎病の現在」とテーマを掲げています。さらにCOVID-19と川崎病の関連、オンライン開催に関連した学術集会のデジタル化の流れが加わり、会を開催致します。

以上から、本学会の継続した課題である川崎病の診断・管理、治療、研究に関して、日米で最近相次いで発表されました川崎病の指針ないしガイドラインの対比、難治性川崎病に対するステロイド、シクロスポリン、インフリキシマブ、アナキンラ、スタチンを含む新しい治療戦略、最近増えています成人期川崎病既往者の問題(DOACsを含む)と小児期、成人移行へのFeedback、最近話題になりますビッグデータ、In Silicoデータを用いた新しい研究の潮流を招請講演、シンポジウムで取り上げます。最近話題になりましたCOVID-19と川崎病に関して、会長緊急特別企画と国際サイバーシンポジウムを急遽企画致しました。本邦と欧米アジア(欧州、米国、武漢、ソウル)の研究者がこのテーマで集う初の企画です。共催セミナーでは、SNSの医療・医学への影響、人工知能の医学応用について取り上げます。川崎病学会の醍醐味である症例検討では、ケースカンファレンスに加えて、川崎病の原点に立ち返る一般演題、ポスター演題がございます。

完全なオンライン開催の日本川崎病学会は初めてであり、他学会の経験も踏まえて準備を進めて参りました。本会では、シンポジウム、招請講演に加えて、一般演題、ポスター演題でも双方向性のライブの議論をお願いしています。その為に、Webinarにおける討論者の設定、ポスターの事前のオンデマンド掲示、参加者の質問入力、投票機能の使用を行います。オンライン懇親会、登録者限定のビジネスチャットツール(AI翻訳機能付き)を用いた連絡・フロア議論による交流を予定しています。特定の教育的なセッションで、会の後の一定期間のオンデマンド配信も予定しています。参加者全員に、完全前登録、参加マニュアルのご一読、特に発表者には、トラブル時のback upの為のご発表の音声動画のご提出、事前の打ち合わせ(画像共有、音声確認)、ウェブ環境と音声環境の整備をお願いしています。さらに口演の発表者には、スライド作成を英語でお願いしています。しかし、予期せぬトラブルが起こる可能性が懸念され、その際は、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

本会で、3月以降にお会いしていない川崎病に関わる先生方のお元気な姿を見られることを楽しみにしています。オンライン開催の利点を生かして、川崎病診療に関わりながらも、病院業務、遠距離在住、ご家庭の事情でこれまで参加できなかった先生方、海外の先生方のご参加も大歓迎です。

参加者の皆様へ

■ 会期(日時)

ライブ配信：10月30日(金) 8：15～19：05

10月31日(土) 8：30～18：00

ポスター発表の流れ、一部の口演発表のライブ配信後のオンデマンド配信については、ホームページの「オンライン参加の手引き」をご参照ください。

■ 参加登録について

【事前参加登録・振込期間】2020年7月31日(金)～10月20日(火)

※当日の参加登録はできません。

■ オンライン学術集会への参加方法

ご登録いただいたメールアドレスにお送りするWeb開催サイトのURLより、オンラインIDとPWを入力してお入りください。協賛企業によるオンライン展示会も開催いたします。

ご参加の詳細について、ホームページの「オンライン参加の手引き」をご一読ください。

■ 専門医研修

日本小児循環器学会の認定講習会として、学会単位3単位の取得が可能です。

■ プログラム・抄録集

会員の方にはプログラム・抄録集を送付いたします。

非会員の方やご希望の方には、1冊2,000円(送料別)にて販売いたします。

運営事務局(jskd40@procomu.jp)までご連絡ください。

■ 優秀演題賞表彰式

日 時：10月30日(金) 19：20～20：50

情報交換会の中で行います。優秀演題賞候補者の方は必ずご参加をお願いいたします。

■ 企業展示

オンライン機器展示を行います。

■ 情報交換会

事前参加登録頂いた方は、全員ご参加いただけます。

日 時：10月30日(金) 19：20～20：50

■ 市民公開講座

市民公開講座の開催はございません。

日程表

	1日目 10月30日 金	2日目 10月31日 土
8:00		
8:15-8:25	会頭挨拶	
8:30-9:06	一般演題 『症例報告 この症例は川崎病か』O1-01~04 座長：津田 悦子・深澤 隆治	8:30-10:05 国際サイバーシンポジウム：COVID-19と川崎病 International Cyber Symposium on COVID19 and Kawasaki Disease 座長：Jane C. Burns・三谷 義英 演者：Michael Levin・Jocelyn Ang・Hua Peng・Lucy Youngmin Eun
9:00		
9:15-10:00	一般演題 『優秀演題セッション』O1-05~09 座長：尾内 善広・三谷 義英	
10:00		
10:10-11:00	特別講演 1 座長：鮎澤 衛 演者：Brian W. McCrindle 共催：日本川崎病研究センター	10:15-10:51 会長緊急特別企画 『COVID-19とKD』 座長：野村 裕一・池田 和幸
11:00		
11:10-12:00	シンポジウム 1 『川崎病の診断、管理の手引き、ガイドラインの検証』 座長：須田 憲治・加藤 太一	11:00-11:50 特別講演 3 座長：高橋 啓 演者：John B. Gordon 共催：日本川崎病研究センター
12:00		
12:15-13:05	共催セミナー 1 『SNSの医療・学術活動への応用』 座長：石井 正浩 演者：岸 拓弥 共催：日本製薬株式会社	12:00-13:00 シンポジウム 3 『川崎病冠後遺症Revisit：成人への移行と小児期へのFeedback』 座長：中村 好一・横井 宏佳
13:00		
13:15-14:05	総会・川崎賞授与	13:15-14:05 共催セミナー 2 『AIの医療・医学への応用』 座長：三谷 義英 演者：三谷 義英・中田 典生 共催：一般社団法人日本血液製剤機構
14:00		
14:15-15:05	特別講演 2 座長：阿部 淳 演者：Jane C. Burns	14:15-15:15 ポスターセッション 2 P2-01~05 座長：家村 素史・石口 由希子 P2-06~09 座長：水野 由美・高月 晋一 P2-10~14 座長：大橋 啓之・古野 憲司 P2-15~19 座長：中川 直美・沼野 藤人
15:00		
15:15-16:15	ポスターセッション 1 P1-01~05 座長：麻生 健太郎・犬飼 幸子 P1-06~09 座長：吉兼 由佳子・篠木 敏彦 P1-10~14 座長：布施 茂登・長井 典子 P1-15~19 座長：廣野 恵一・岩島 覚	15:25-15:45 ケースカンファレンス：冠合併症管理 座長：鎌田 政博・小林 徹 演者：森藤 祐次
16:00		
16:25-17:20	会長要望演題 『難治性川崎病の治療』C1-01~06 座長：鈴木 啓之・松裏 裕行	15:55-16:40 一般演題 『バイオマーカー、動物実験』O2-01~05 座長：今中 恭子・松原 知代
17:00		
17:30-18:15	シンポジウム 2 part1 『難治性川崎病に対する新しい治療戦略 Part1』 座長：岩田 直美	16:50-17:50 シンポジウム 4 (共催) 『川崎病研究の新しい潮流：大規模データ、In Silicoデータを用いた研究』 座長：尾内 善広・三谷 義英 共催：帝人ファーマ株式会社/帝人ヘルスケア株式会社
18:00		
18:25-19:05	シンポジウム 2 part2 (共催) 『難治性川崎病に対する新しい治療戦略 Part2』 座長：三浦 大 共催：田辺三菱製薬株式会社	17:50-18:00 閉会の辞・次期会頭挨拶
19:00		
19:20-20:50	情報交換会 (優秀演題賞の表彰含む)	

10月30日金

8:15 - 8:25

会頭挨拶

8:30 - 9:06

一般演題『症例報告 この症例は川崎病か』

座長：津田 悦子 (国立循環器病研究センター 小児循環器内科)

深澤 隆治 (日本医科大学 小児科)

討論者：片山 博視 (高槻赤十字病院 小児科)

池田 和幸 (京都府立医科大学大学院医学研究科 小児科学)

01-01 川崎病が強く疑われた乳児突然死例

A case of sudden infant death suspected of Kawasaki disease

横内 幸 東邦大学医療センター大橋病院 病理診断科

01-02 発熱・咽頭発赤のみを呈し巨大冠動脈瘤を認めた乳児例

A 11-month-old boy with only two symptoms of Kawasaki disease and bilateral giant coronary aneurysms

家守 章子 福岡市立こども病院 川崎病センター

01-03 川崎病既往のない右巨大冠動脈瘤血栓閉塞による急性心筋梗塞を呈した一例

A case of acute myocardial infarction caused by thrombotic occlusion of right coronary giant aneurysm following no history of Kawasaki disease

内山 敬達 高槻病院 小児科

01-04 急性心筋梗塞で発症した原因不明の冠動脈瘤を認めた14歳女性

Acute myocardial infarction due to idiopathic coronary aneurysms in a 14 years-old female

豊島 由佳 国立循環器病研究センター 小児科循環器内科

座長：尾内 善広 (千葉大学大学院 医学研究院 公衆衛生学)
三谷 義英 (三重大学医学部附属病院 周産期母子センター)

討論者(審査員)：尾内 善広 (千葉大学大学院 医学研究院 公衆衛生学)
片山 博視 (高槻赤十字病院 小児科)
鎌田 政博 (広島市立広島市民病院 循環器小児科)
小林 徹 (国立成育医療研究センター 臨床研究センター データサイエンス部門)
津田 悦子 (国立循環器病研究センター 小児循環器内科)
中村 好一 (自治医科大学 公衆衛生学教室)
野村 裕一 (鹿児島市立病院 小児科)
深澤 隆治 (日本医科大学 小児科)
布施 茂登 (NTT 東日本札幌病院 小児科)
三浦 大 (東京都立小児総合医療センター)

01-05 川崎病におけるSARS-CoV-2抗体価の検討

Kawasaki disease or Kawasaki-like disease: influence of SARS-CoV-2 infections in Japan

飯尾 一輝 東京都立小児総合医療センター 総合診療科

01-06 和歌山県内における川崎病の初期治療に対する抵抗性と冠動脈病変に関する検討

Analysis of unresponsiveness to initial treatment and development of coronary artery lesions in patients with Kawasaki disease in Wakayama prefecture

竹腰 信人 公立那賀病院 小児科

01-07 川崎病類似血管炎マウスモデルを用いたSyk阻害薬の血管炎抑制効果に対する検討

Inhibitory effect of Syk inhibitors on Kawasaki disease-like murine vasculitis induced by *Candida albicans* cell-wall polysaccharide

浅川奈々絵 東邦大学医療センター大橋病院 病理診断科

01-08 川崎病と感音難聴発症に関する前方視的コホート研究

A prospective cohort study for sensorineural hearing loss associated with Kawasaki disease

河田奈々子 東京都立小児総合医療センター 総合診療科

01-09 川崎病既往児童の学校検診における運動負荷心電図の必要性

Value of exercise stress electrocardiogram in school heart disease screening for children with a history of Kawasaki disease.

川向 永記 福岡市立こども病院 川崎病センター／福岡市立こども病院 総合診療科

10:10 - 11:00 **特別講演 1**

座長：鮎澤 衛 (日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野)

討論者：鎌田 政博 (広島市立広島市民病院 循環器小児科)

廣野 恵一 (富山大学医学部 小児科)

共催：特定非営利活動法人 日本川崎病研究センター

SL1-01 North American Guidelines for Kawasaki Disease in the Era of COVID-19

Brian W. McCrindle, MD MPH

Department of Pediatrics, University of Toronto. The Hospital for Sick Children, Toronto, Canada

11:10 - 12:00 **シンポジウム 1 『川崎病の診断、管理の手引き、ガイドラインの検証』**

座長：須田 憲治 (久留米大学医学部 小児科)

加藤 太一 (名古屋大学大学院 医学系研究科 成長発達医学)

討論者：布施 茂登 (NTT 東日本札幌病院 小児科)

Brian W. McCrindle (Department of Pediatrics, University of Toronto. The Hospital for Sick Children, Toronto, Canada)

S1-01 川崎病診断の手引きの改訂と今後の課題

The 6th Revision of Diagnostic Guidelines of Kawasaki Disease

鮎澤 衛 日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野

S1-02 2020年改定版川崎病心臓血管後遺症の診断と治療のガイドラインと今後の課題

JCS/JSCS 2020 Guideline on Diagnosis and Management of Cardiovascular Sequellae in Kawasaki Disease and tasks for future

深澤 隆治 日本医科大学 小児科

12:15 - 13:05 **共催セミナー 1 『SNSの医療・学術活動への応用』**

座長：石井 正浩 (石井小児科・心臓小児科)

討論者：岩島 寛 (中東遠総合医療センター 小児循環器科)

三谷 義英 (三重大学医学部附属病院 周産期母子センター)

共催：日本製薬株式会社

LS1-01 日本循環器学会@JCIRC_IPRが#twitterを始めたら見えてきたこと
～川崎病の勉強にもなりました～

Impact of #twitter by Japanese Circulation Society @JCIRC_IPR
-Encourage to Learn Kawasaki Disease-

岸 拓弥 国際医療福祉大学医学部 循環器内科/大学院医学研究科 循環器内科

13:15 - 14:05 総会・川崎賞授与

14:15 - 15:05 特別講演 2

座長：阿部 淳 (国立成育医療研究センター研究所 高度先進医療研究室)

討論者：森 雅亮 (東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科 生涯免疫難病学講座)

濱田 洋通 (東京女子医科大学八千代医療センター 小児科)

SL2-01 Treatment choices in KD linked to disease biology

Jane C. Burns

Kawasaki Disease Research Center, Department. of Pediatrics, University of California San Diego, CA, US

15:15 - 16:15 ポスターセッション 1

15:15 - 15:45 『急性期治療1 免疫グロブリン療法の実臨床』

ウェブ会場 1

座長：麻生健太郎 (聖マリアンナ医科大学 小児科)

犬飼 幸子 (名古屋第二赤十字病院 小児科)

討論者：吉兼由佳子 (福岡大学西新病院 小児科)

篠木 敏彦 (独立行政法人国立病院機構 三重病院 小児科)

P1-01 IVIG不応予測スコアにより治療、冠動脈病変にどれくらい差があるか～単施設研究

Treatment and coronary artery lesions depending on the IVIG refractory prediction score
~single-center research

犬飼 幸子 名古屋第二赤十字病院 小児科

P1-02 体重25kg以上の川崎病患者のIVIG投与量の検討

High-dose versus low-dose IVIG for Kawasaki disease children with a weight of 25 kg or more.

鈴木 孝典 あいち小児保健医療総合センター 循環器科

P1-03 急性期治療における再燃例を血清IgG上昇量から予測する

Increase of serum IgG predicts an acute relapse of Kawasaki Disease.

高橋 努 済生会宇都宮病院 小児科

P1-04 川崎病経過中に合併し免疫グロブリンが原因と考えられたスティーブンスジョンソン症候群：診断・治療上の重要性について

Case report of Stevens-Johnson syndrome suspected to be caused by Intra-venous immunoglobulin therapy for Kawasaki disease

岡本 健吾 広島市立広島市民病院 循環器小児科

P1-05 単独免疫グロブリン療法 (2 g/kg) 終了後にアスピリンを開始した初回治療を受けた年長発症川崎病の急性期合併症

Acute phase complications of the older children who received initial single intravenous immunoglobulin therapy (2g/kg) with delayed use of aspirin for Kawasaki disease

中田 利正 青森県立中央病院 小児科

15:45 - 16:15 『急性期治療 2 難治性川崎病の治療の実際』

ウェブ会場 1

座長：吉兼由佳子 (福岡大学西新病院 小児科)
篠木 敏彦 (独立行政法人国立病院機構 三重病院 小児科)

討論者：麻生健太郎 (聖マリアンナ医科大学 小児科)
犬飼 幸子 (名古屋第二赤十字病院 小児科)

P1-06 3rd lineとしてシクロスポリン不応だったが、プレドニゾロンが著効した川崎病の一例
Two year-old girl with Kawasaki disease who was refractory to cyclosporin but markedly responded to prednisolone at the 3rd line treatment.

近藤 優帆 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科/千葉市立海浜病院 小児科

P1-07 シクロスポリンの投与方法と血中濃度の関係の考察 ~川崎病のくすぶり症例報告から~
Blood level relationship of taking cyclosporin between oral and drip from an intractable case report of Kawasaki disease

松井 亮介 日本医科大学 小児科

P1-08 関節痛が病勢を反映した難治性川崎病の1例
A case of the refractory Kawasaki disease complicated with arthralgia which reflects the disease inflammation.

安東亜希子 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科/東京女子医科大学病院 小児科

P1-09 メトトレキサートが有効であった関節炎合併川崎病の1例
A case of Kawasaki disease complicated with arthritis that methotrexate was effective

池田 和幸 京都府立医科大学附属病院 小児科

15:15 - 15:45 『診断、疫学 1 不全型川崎病』

ウェブ会場 2

座長：布施 茂登 (NTT 東日本札幌病院 小児科)
長井 典子 (岡崎市民病院 小児科)

討論者：廣野 恵一 (富山大学 医学部小児科)
岩島 覚 (中東遠総合医療センター 小児循環器科)

P1-10 当院における早期乳児川崎病の特徴と後遺症
Characteristics and sequelae of early infantile Kawasaki disease in Fujita Health University

鈴木大次郎 藤田医科大学 岡崎医療センター

- P1-11** 当院における不全型川崎病に対する診断と治療
Diagnosis and treatment of incomplete Kawasaki disease
成瀬 創太 岡崎市民病院 小児科
- P1-12** 不全型川崎病の鑑別における赤血球沈降速度 (ESR) とフィブリノゲン (Fib) の有用性
Usefulness of Erythrocyte Sedimentation Rate (ESR) and Fibrinogen(Fib) in evaluation of suspected incomplete Kawasaki Disease
水野 風音 済生会宇都宮病院
- P1-13** 不全型川崎病診断における参考条項の有用性の検討
Examination of usefulness of reference clause in diagnosis of incomplete Kawasaki disease
松本 一希 名古屋第一赤十字病院
- P1-14** 魚沼地域の川崎病の年度別特徴の検討
Review of Kawasaki disease in Uonuma
稲葉 聡 魚沼基幹病院 小児科

15:45 - 16:15 『診断、疫学2 診療と疫学』

ウェブ会場2

- 座長：廣野 恵一 (富山大学 医学部小児科)
岩島 覚 (中東遠総合医療センター 小児循環器科)
- 討論者：布施 茂登 (NTT 東日本札幌病院 小児科)
長井 典子 (岡崎市民病院 小児科)

- P1-15** 川崎病パンフレットの効果と課題 —患者家族へのアンケート調査から—
Effects and issues of Kawasaki disease pamphlet
—From a questionnaire survey to patient families—
青木 千佳 地方独立行政法人 広島市立病院機構 広島市立広島市民病院
- P1-16** 消化器症状を合併した川崎病と好中球/リンパ球比, 血小板/リンパ球比の関連
Relationship between complication of gastrointestinal disease with Kawasaki disease and the combination of the neutrophil/lymphocyte and platelet/lymphocyte ratios as a novel predictor of intravenous immunoglobulin resistance
岩島 覚 中東遠総合医療センター 小児循環器科
- P1-17** 川崎病発症と抗菌薬使用の関連 —BCG接種との関連も含めて—
The development of Kawasaki disease and previous antibiotic administration (including BCG vaccination)
深澤 光晴 九州大学医学部 成長発達医学分野/ふかざわ小児科医院 福岡市
- P1-18** COVID-19致死率及び川崎病発症率に寄与した特定ガス状物質濃度
Specific gaseous substance concentration contributing to COVID-19 mortality and KD incidence
木村健一郎

P1-19 川崎病KDのみならず指定難病40疾患、がん・悪性腫瘍24種のtriggerも花粉であろう
(第18報) COVID-19流行による東京都KD患者数の減少は見られない

KD as well as 40 of specific intractable diseases and 24 of cancers are pollen diseases. KD as well as 40 of specific intractable diseases and 24 of cancers are pollen diseases (No.18). KD patients decrease was not found in pandemic of COVID-19 in Tokyo.

栗屋 昭 皮膚科学疫学研究所 (横浜市戸塚区)

16:25 - 17:20 **会長要望演題『難治性川崎病の治療』**

座長：鈴木 啓之 (和歌山県立医科大学 小児科)
松裏 裕行 (東邦大学医療センター大森病院 小児科)

討論者：吉兼由佳子 (福岡大学西新病院 小児科)
中川 直美 (広島市立広島市民病院 循環器小児科)

C1-01 川崎病に対するIVIG療法とステロイド追加治療について
～静岡県川崎病研究会多施設共同研究～

Targeted Use of Prednisolone with Intravenous Immunoglobulin for Refractory Kawasaki Disease

岩島 覚 静岡川崎病研究会／中東遠総合医療センター 小児科

C1-02 ステロイドの投与期間を短縮した初期併用療法における追加治療を要した症例の検討
Analysis of additional therapy for Kawasaki disease patients treated with immunoglobulin plus short-term prednisolone.

加藤 太一 名古屋大学大学院医学系研究科 成長発達医学

C1-03 IVIG不応川崎病におけるシクロスポリン静注療法の治療反応性予測

Predictive factors for efficacy of cyclosporine continuous infusion in patients with Kawasaki disease

関 満 自治医科大学とちぎ子ども医療センター 小児科

C1-04 川崎病冠動脈瘤に対するARB/ACEiの冠動脈瘤退縮効果の検討 - KIDCARサブ解析 -

The effect of ARB/ACEi for regression of coronary aneurysm in Kawasaki disease Patients: A subgroup analysis of the KIDCAR study (EARNEST)

菅沼 栄介 日本川崎病学会 KIDCARグループ／埼玉県立小児医療センター 感染免疫科

C1-05 急性期の川崎病患者におけるスタチン治療の効果

The effect of statin treatment during acute phase on the patients with Kawasaki disease

清水智佐登 カリフォルニア大学サンディエゴ校 医学部

C1-06 川崎病に対するγグロブリンとコルヒチン併用療法の安全性と効果の検討

Study on safety and efficacy of combination therapy with γ-globulin and colchicine for Kawasaki disease

麻生健太郎 聖マリアンナ医科大学 小児科

17:30 - 18:15

シンポジウム 2 part1

『難治性川崎病に対する新しい治療戦略 Part1』

座長：岩田 直美 (あいち小児保健医療総合センター 感染免疫科)

討論者：北野 尚美 (公立大学法人 和歌山県立医科大学 地域・国際貢献推進本部地域医療支援センター／
医学部公衆衛生学講座 (併任))

古野 憲司 (福岡市立こども病院 総合診療科)

S2-1-01 Post RAISE時代のステロイドを用いた初期併用療法による成果と課題

Results and issues of initial combined therapy with steroids in the Post RAISE era

三浦 大 東京都立小児総合医療センター

S2-1-02 難治性川崎病症例にシクロスポリンAを導入した第1例目とその後の展開

The first patient with refractory Kawasaki disease who was treated with ciclosporin A and the development of ciclosporin A therapy

鈴木 啓之 和歌山県立医科大学 小児科

S2-1-03 シクロスポリンAを用いた川崎病治療の実際と今後の展望

Actual and future prospects of treatment for Kawasaki disease with cyclosporin A

濱田 洋通 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科

18:25 - 19:05

シンポジウム 2 part2 (共催)

『難治性川崎病に対する新しい治療戦略 Part2』

座長：三浦 大 (東京都立小児総合医療センター)

討論者：小林 徹 (国立成育医療研究センター 臨床研究センター データサイエンス部門)

廣野 恵一 (富山大学医学部 小児科)

共催：田辺三菱製薬株式会社

S2-2-01 川崎病に対する実臨床でのインフリキシマブ使用とSAKURA study

How to use Infliximab for Kawasaki disease based on the result of SAKURA study

岩田 直美 あいち小児保健医療総合センター 感染免疫科

S2-2-02 重症川崎病治療における、生物学的製剤(インフリキシマブ)と血漿交換療法の位置づけ

Positioning of biologics (Infliximab) and plasmapheresis in the treatment of severe Kawasaki disease

森 雅亮 東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科 生涯免疫難病学講座

19:20 - 20:50

情報交換会 (優秀演題賞の表彰含む)

8:30 - 10:05

国際サイバーシンポジウム：COVID-19と川崎病

International Cyber Symposium on COVID19 and Kawasaki Disease

座 長：Jane C. Burns (Kawasaki Disease Research Center, Department. of Pediatrics, University of California San Diego, CA, US)

三谷 義英 (三重大学医学部附属病院 周産期母子センター)

討論者：濱田 洋通 (東京女子医科大学八千代医療センター 小児科)

鮎澤 衛 (日本大学医学部 小児科学系 小児科学分野)

IS-01 Emergence of a Multisystem Inflammatory Syndrome in Children (MIS-C) resembling Kawasaki Disease associated with the SARSCov2 Pandemic

Michael Levin

Professor of International Child Health, Imperial College, London, UK

IS-02 The Spectrum of Multisystem Inflammatory Syndrome in Children (MIS-C) in a United States Epicenter for Severe Acute Respiratory Syndrome Coronavirus 2 (SARS-CoV-2)- Association with Kawasaki Disease (KD) and the Role of Infliximab

Jocelyn Ang

Department of Pediatrics and Pediatric Infectious Disease, Children's Hospital of Michigan, Michigan, US

IS-03 Kawasaki Disease and heart damage in children during the COVID-19 pandemic in Wuhan

Hua Peng

Department of Pediatric, Union Hospital, Tongji Medical College, Huazhong University of Science and Technology, Wuhan, China

IS-04 Differences in Korean children with Kawasaki disease during the COVID-19 pandemic

Lucy Youngmin Eun

Associate Professor, Division of Pediatric Cardiology, Department of Pediatrics, Yonsei University College of Medicine, Gangnam Severance Hospital, Seoul, Korea

10:15 - 10:51 **会長緊急特別企画『COVID-19とKD』**

座長：野村 裕一（鹿児島市立病院 小児科）
池田 和幸（京都府立医科大学大学院 医学研究科 小児科学）
討論者：高月 晋一（東邦大学医療センター大森病院 小児科）
古野 憲司（福岡市立こども病院 総合診療科）

CS-01 日本の川崎病ショック症候群と欧米のMIS-C症例の比較検討

Kawasaki disease shock syndrome in Japan and its comparison with Multi inflammatory syndrome-COVID19 in European countries

濱田 洋通 東京女子医科大学八千代医療センター 小児科

CS-02 Kawasaki Disease and COVID-19

Ho-Chang Kuo, MD, PhD

Kawasaki Disease Center and Department of Pediatrics, Kaohsiung Chang Gung Memorial Hospital, Kaohsiung, Taiwan, 83301. / College of Medicine, Chang Gung University, Taoyuan, Taiwan, 33302.

CS-03 日本のCOVID-19流行期の当院における川崎病患者の特徴

Characteristics of Kawasaki disease patients in our hospital during the COVID-19 epidemic in Japan

清水 翔一 日本大学医学部 小児科学系小児科学分野

CS-04 当院の川崎病症例におけるCOVID-19抗体価の検討

Evaluation of COVID-19 antibody titer for Kawasaki disease in this hospital.

武 義基 東京医科大学病院 小児科・思春期学科

11:00 - 11:50 **特別講演 3**

座長：高橋 啓（東邦大学医療センター大橋病院 病理診断科）

討論者：深澤 隆治（日本医科大学 小児科）

横井 宏佳（福岡山王病院 循環器センター）

共催：特定非営利活動法人 日本川崎病研究センター

SL3-01 Care of Adults with Coronary Artery Aneurysms (CAA) from Kawasaki Disease (KD) in childhood

John B. Gordon

San Diego Cardiac Center and Sharp Memorial Hospital, CA, US

12:00 - 13:00

シンポジウム 3

『川崎病冠後遺症Revisit：成人への移行と小児期へのFeedback』

座長：中村 好一（自治医科大学 公衆衛生学教室）

横井 宏佳（福岡山王病院 循環器センター）

S3-01 成人期川崎病冠後遺症に対するカテーテル治療

～循環器内科医に求められる至適薬物療法と虚血評価法も含めて～

Catheter intervention for the patients into adulthood after Kawasaki Disease complicated with coronary artery abnormalities.

～Optimal medical therapy and ischemia evaluation required for cardiologist～

田村 俊寛 公益財団法人 天理よろづ相談所病院 循環器内科

S3-02 成人冠動脈瘤退縮患者への警鐘

Alarm to the patients with regressed coronary artery aneurysms caused by Kawasaki disease

津田 悦子 国立循環器病研究センター 小児循環器内科

S3-03 成人期川崎病冠動脈後遺症の病理：粥状動脈硬化症は川崎病冠後遺症に合併しやすいか

Pathology of coronary arterial lesions of Kawasaki disease in young adults;

the association between post-inflammatory arteriosclerosis and atherosclerosis

高橋 啓 東邦大学医療センター大橋病院 病理診断科

S3-04 川崎病冠後遺症の成人期予後から見た川崎病の小児期医療、移行医療

Management for Kawasaki Disease during Childhood and the Transition :

Lessons from the Prognosis of Coronary Sequelae in Adulthood

三谷 義英 三重大学医学部附属病院 周産期母子センター

13:15 - 14:05

共催セミナー 2 『AIの医療・医学への応用』

座長：三谷 義英（三重大学医学部附属病院 周産期母子センター）

討論者：鳥羽 修平（三重大学大学院医学系研究科 胸部心臓血管外科）

山村健一郎（九州大学大学院医学研究院 周産期・小児医療学講座）

共催：一般社団法人 日本血液製剤機構

LS2-01 川崎病の臨床・研究からの深層学習の応用への期待

Expectations for the Application of Deep Learning to the Clinics and the Study of Kawasaki Disease

三谷 義英 三重大学医学部附属病院 周産期母子センター

LS2-02 保健医療における人工知能の活用について

Artificial Intelligence in Healthcare Application

中田 典生 東京慈恵会医科大学 人工知能医学研究部

14:15 - 15:15

ポスターセッション 2

14:15 - 14:45

『鑑別診断1 診断、管理に苦慮する例』

ウェブ会場1

座長：家村 素史（聖マリア病院 小児循環器科）
石口由希子（広島市立広島市民病院 循環器小児科）
討論者：水野 由美（福岡市立こども病院 川崎病センター）
高月 晋一（東邦大学医療センター大森病院 小児科）

P2-01 化膿性耳下腺炎・筋炎との鑑別に苦慮した不全型川崎病の1例
Atypical Kawasaki disease mimicking bacterial parotitis and myositis

相原 健志 国立成育医療研究センター 教育研修センター

P2-02 インフリキシマブ投与後にヒトメタニューモウイルス感染症が判明した川崎病の一例
A case of Kawasaki disease with human metapneumovirus infection after administration of infliximab

森 あゆみ トヨタ記念病院

P2-03 初期症状として結節性紅斑様の皮疹を呈し診断が遅れた川崎病
Erythema nodosum-like rashes masking Kawasaki disease with an initial manifestation of skin lesions

岡田 清吾 山口県済生会下関総合病院 小児科

P2-04 川崎病治療後に薬剤過敏性症候群 (DIHS) を発症し、遠隔期にバセドウ病を呈した一男児例
A case of a boy who developed drug induced hypersensitivity syndrome (DIHS) after treatment of Kawasaki disease and presented with Grave's disease as late-term complication.

小野 朱美 徳島県立中央病院 小児科

P2-05 重症川崎病の急性期治療後に急性脳症を発症した1例
Acute encephalopathy post treatment of severe Kawasaki Disease

石口由希子 広島市立広島市民病院 循環器小児科

14:45 - 15:15

『鑑別診断2 診断、管理に苦慮する例』

ウェブ会場1

座長：水野 由美（福岡市立こども病院 川崎病センター）
高月 晋一（東邦大学医療センター大森病院 小児科）
討論者：家村 素史（聖マリア病院 小児循環器科）
石口由希子（広島市立広島市民病院 循環器小児科）

P2-06 もやもや病を合併していた両側巨大冠動脈瘤と慢性閉塞性病変を認めた川崎病の1例
A case of Kawasaki disease with bilateral giant coronary artery aneurysm and chronic total occlusion, and with Moyamoya disease

築野 香苗 日本医科大学 小児科

P2-07 股関節骨髓炎による菌血症が契機と考えられた不全型川崎病の1例
Incomplete Kawasaki Disease thought to be caused by bacteremia due to hip osteomyelitis
松川加奈子 横須賀市立うわまち病院

P2-08 血小板減少を呈した川崎病として治療開始した直後にマクロファージ活性化症候群合併の全身型若年性特発性関節炎と診断した1例
A case of systemic juvenile idiopathic arthritis with macrophage activation syndrome diagnosed immediately following the initiation of therapy for Kawasaki disease with thrombocytopenia
森 健太郎 東京医科大学病院

P2-09 川崎病主要症状を呈した乳児全身型若年性特発性関節炎のDown症児
Down syndrome infant of systemic juvenile idiopathic arthritis with symptoms of Kawasaki disease
高橋 宜宏 鹿児島大学病院 小児科

14:15 - 14:45 『診断、管理1 心血管疾患の合併』

ウェブ会場2

座長：大橋 啓之 (三重大学大学院医学研究科 小児科学)
古野 憲司 (福岡市立こども病院 総合診療科)
討論者：中川 直美 (広島市立広島市民病院 循環器小児科)
沼野 藤人 (新潟大学医歯学総合病院 小児科)

P2-10 川崎病を契機に右冠動脈左冠動脈洞起始を診断された1例
A case of R-ACAOS (right anomalous coronary arteries originating from the opposite sinus) detected for Kawasaki disease acute phase.
石踊 巧 筑波大学附属病院 小児科

P2-11 川崎病急性期に肺高血圧の所見を認めた稀な1例
a rare case with pulmonary hypertension in acute phase of Kawasaki disease
竹本 直輝 船橋市立医療センター

P2-12 当院における川崎後既往成人の冠動脈壁画像イメージング：
急性冠症候群のスクリーニングからリスク層別化まで
Coronary Vessel Wall Imaging in Adults after Kawasaki Disease:
deal with everything from screening to risk stratification for ACS
大橋 啓之 三重大学大学院医学系研究科 小児科学

P2-13 川崎病の親子例
Kawasaki disease siblings with father history of Kawasaki disease
勝木純一郎 中東遠総合医療センター 小児循環器科

P2-14 川崎病診断時の冠動脈拡張の後方視的検討
Retrospective analysis of coronary artery Z scores in acute Kawasaki disease
川合 玲子 東邦大学医療センター大森病院 小児科

座長：中川 直美 (広島市立広島市民病院 循環器小児科)

沼野 藤人 (新潟大学医歯学総合病院 小児科)

討論者：大橋 啓之 (三重大学大学院 医学研究科 小児科学)

古野 憲司 (福岡市立こども病院 総合診療科)

P2-15 多発動脈瘤を認めた乳児期発症の不全型川崎病の長期フォローアップ
Long term follow up of infantile onset incomplete Kawasaki disease with multiple aneurysms

高瀬 隆太 久留米大学医学部 小児科学教室

P2-16 急性期川崎病における血圧管理の意義
Blood pressure control during acute stage of Kawasaki disease

中川 直美 広島市立広島市民病院 循環器小児科

P2-17 モデルマウスを用いた血管炎後心筋の経時的変化の検討
Evaluation of cardiac inflammation and fibrosis in convalescence using KD model mouse

星野 真介 滋賀医科大学医学部附属病院 小児科

P2-18 尿中 β 2ミクログロブリンから見た川崎病急性期
Urinary be-ta 2 microglobulin and acute phase of Kawasaki diseases

中村 雅也 国立病院機構 三重病院

P2-19 川崎病亜急性期におけるマトリックスメタロプロテイナーゼ-3 (MMP-3) と関節炎の
関連について
The relation between matrix metalloproteinase-3 and arthritis in the subacute phase of
Kawasaki disease

末永 智浩 和歌山県立医科大学 小児科

15:25 - 15:45 ケースカンファレンス：冠合併症管理

座長：鎌田 政博 (広島市立広島市民病院 循環器小児科)

小林 徹 (国立成育医療研究センター 臨床研究センター データサイエンス部門)

討論者：秋元かつみ (順天堂大学 小児科・思春期科)

馬場 健児 (岡山大学病院 小児科 IVR センター)

CC-01 進行性超巨大冠動脈瘤 (super GCAA) を有する川崎病に対する血圧コントロールの意義
Importance of Blood Pressure Control in Kawasaki Disease with Expanded Giant Coronary
Aneurysm (super GCAA)

森藤 祐次 広島市立広島市民病院 循環器小児科

座長：今中 恭子 (三重大学医学系研究科 修復再生病理学)

松原 知代 (獨協医科大学埼玉医療センター 小児科)

討論者：沼野 藤人 (新潟大学医歯学総合病院 小児科)

大原関利章 (東邦大学医療センター大橋病院 病理診断科)

O2-01 バイオマーカーで川崎病難治例を予測する –テネイシンC、ペントラキシン3–
Predicting the treatment-resistant Kawasaki disease by biomarker, Tenascin C and Pentraxin 3

吉兼由佳子 福岡大学医学部 小児科

O2-02 川崎病の診断と外来フォローにおけるLOX-1リガンド測定の有用性
Usefulness of the measurement of LOX-1 ligands in patients with Kawasaki disease at diagnosis and during follow-up

水野 由美 福岡市立こども病院 川崎病センター／富山大学医学部 小児科／
九州大学大学院医学研究院 成長発達医学

O2-03 血清ヒアルロン酸はIVIG不応例を予測する
Serum hyaluronic acid predicts IVIG resistance

中島 康貴 国立病院機構 小倉医療センター

O2-04 *All-trans-retinoic acid*はマウス冠動脈狭窄を軽減する
All-trans-retinoic acid alleviates coronary artery stenosis in a mouse model of Kawasaki disease

菅沼 栄介 埼玉県立小児医療センター 感染免疫・アレルギー科

O2-05 血管炎と高脂血症はマウス生命予後を低下させる
–カンジダ細胞壁多糖誘導川崎病血管炎モデルを用いた検討–
Vasculitis and hyperlipidemia reduces the prognosis of life in a murine model of Kawasaki disease vasculitis.

大原関利章 東邦大学医療センター大橋病院 病理診断科

16:50 - 17:50

シンポジウム 4 (共催)

『川崎病研究の新しい潮流：大規模データ、In Silicoデータを用いた研究』

座長：尾内 善広 (千葉大学大学院 医学研究院 公衆衛生学)
三谷 義英 (三重大学医学部附属病院 周産期母子センター)

共催：帝人ファーマ株式会社／帝人ヘルスケア株式会社

S4-01 川崎病診療実態を明らかにするためのレセプト情報・特定健診等情報データベースを用いた横断調査

A cross sectional study to survey acute treatment for Kawasaki disease using National Database

小林 徹 国立成育医療研究センター 臨床研究センター データサイエンス部門

S4-02 川崎病急性期～回復期の末梢血B細胞が発現する免疫グロブリン重鎖レパトアの解析 A repertoire analysis of the immunoglobulin heavy chains expressed by peripheral blood B lymphocytes of patients with Kawasaki disease

尾内 善広 千葉大学大学院 医学研究院 公衆衛生学

S4-03 IVIG抵抗性の病態解明に向けたインシリコ解析

In silico analysis for elucidating the mechanism of IVIG resistance in acute Kawasaki disease

西村 有平 三重大学大学院 医学系研究科 統合薬理学

S4-04 *in silico*を用いた川崎病急性期における血管内皮細胞由来の微小粒子(EMP)に含まれる特異的microRNAの機能解析

Analysis of specific microRNAs contained endothelial microparticles using *in silico* in the acute phase of Kawasaki Disease

仲岡 英幸 富山大学医学部 小児科学教室 周産母子センター

17:50 - 18:00

閉会の辞・次期会頭挨拶